

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」



神の御心を求める
礼拝と祈りが満ちる教会
ローマ書 12:1-2

週報 2026-2 号

2026.1.11

教会の働き

- 今日愛餐会の後男女宣教会の聖霊充滿祈禱会があります。
- 12 日、一月・信州祈り会の集いが私たちの教会であります。ご奉仕とお祈りを願います。
- 1 月 15 日、男女宣教会の新年会があります。会場はとんどんこい、午後 6 時 30 分からです。
- 来週(18 日)は、職員献身礼拝があります。主の前に心を新たに、働き人としての献身をささげる大切な礼拝の時です。お祈りで準備しましょう。
- 今年から月に一度、新しく始まる愛餐会の後に、1 月の小グループの交わりを行います。食事と交わりを通して、その日のメッセージの恵みを主にあって分かち合い、証しの時ともなります。どうぞご参加ください。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。

1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。2 この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 熊谷茂美(祈禱)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 高木はつ江(祈禱)

水曜礼拝 韓芽唯(司会) 松島スヤンティ(祈禱)

2026 年 祈 禱 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども、若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者、次世代リーダーが起こされるように。

神の計画の中を歩む教会

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード 韓芽唯

信仰告白 (使徒信条)

代表祈禱 北原明子

特別賛美 インマヌエル聖歌隊

お知らせ

聖書箇所 ローマ書 12:1-2

(神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会)

メッセージ 柳承吉牧師

賛美 神の家族

祝 禱 柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード 韓芽唯

代表祈禱 松島スヤンティ

聖書箇所 第二コリント 4:17-18

メッセージ (日々新しく 2) 柳 承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会 北原孝子

代表祈禱 松島浩一

聖書箇所 ローマ書 9:1-5

メッセージ ローマ書 9章の概略(1) 柳承吉牧師

主の祈り

今週の御言葉

「神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会」

ローマ書 12:1-2

2026 年、教会の祈禱題目の第一に「神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会となること」を掲げました。これは何かを増やすためでも、頑張るためのスローガンでもなく、原点に立ち返る本質的なテーマです。教会が教会であり続け、聖徒が神の民として歩むために必要なのは、神の御心を求める礼拝と祈りです。ローマ 12 章は、救われた者の礼拝と生活の出発点を教えています。

1. 神の御心は「礼拝」から始まる(12:1)

「ですから、…あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる、生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。」

礼拝は救われる条件ではなく、救われた者の応答です。パウロは「まず奉仕せよ」ではなく、「あなた自身を献げなさい」と語ります。ここでの「からだ」とは日曜の一時間ではなく、生活全体、存在そのものです。私たちは礼拝と生活を分けがちですが、神の前では月曜日の私も火曜日の私も、弱さも悩みも含めて「ささげるべき自分」です。旧約のいけにえが死んで捧げられたのに対し、私たちは「生きたささげ物」として、日々の選択の中で自分を献げ続けます。

礼拝の基準は「自分が満足したか」ではなく「神が喜ばれたか」です。神の御心を求める教会は、「主はどう受け取られたか」を第一にします。

2. 神の御心は「この世の型」では分からない(12:2 前半)
「この世と調子を合わせてはいけません…」

「この世」とは、神を抜きにして考える価値基準の型です。効率、成功、数、評価が基準になると、教会も知らぬ間に世の型に押し込まれます。指揮者を見ないオーケストラが音楽にならないように、神の御心を見ない教会は調和を失います。新年に計画を立てる前に、まず御心を尋ね、神の声に耳を傾ける必要があります。

3. 神の御心は「心の刷新」によって見分けられる

「心を新たにしておいて自分を変えていただきたい」

ここは「自分で変われ」ではなく「変えていただけ」という受動です。神の御心は努力で掴むのではなく、祈りの中で聖霊によって示されます。箴言 3:5-6「心を尽くして主に拠り頼め…主があなたの進む道をまっすぐにされる。」御心は突然のひらめきではなく、礼拝と祈りと御言葉の積み重ねの中で「見分けるようになる」ものです。

教会全体もまた、判断基準と優先順位が神によって刷新され続けなければなりません。だからこそ今年の祈禱題目は活動ではなく、礼拝と祈りです。

4. 神の御心は「祈る教会」に委ねられる

使徒の働き 1:14「彼らは皆、心を一つにして、祈りに専念していた。」神の御心は会議室ではなく祈りの場で明らかにされます。教会の力は計画の巧みさではなく、祈りの深さです。使徒の働き 2:42「彼らは…パンを裂き、祈りをしていた。」2026 年、神の御心を求め続ける教会は、迷っても戻る場所を知り、弱っても立ち上がれます。私たちが目指すのは大きさではなく深さです。深い礼拝、深い祈り、深い神への信頼の中で、神は必要を必要な時に与えてくださいます。この祈りをもって新年を始めましょう。「主よ。今日、何よりもあなたの御心を求めます。この教会を礼拝と祈りに満ちた教会としてください。」